

基本計画部会第2ワーキンググループ 審議項目及び審議スケジュール(案)

回数、日時	議題	検討すべき具体的課題・審議のポイント	現行基本計画の項目
第1回 6月7日(金) 10:00～12:00	(1)第2WGの検討の進め方について ①タスクフォースの設置について ②審議協力者の選定について (2)第2WGの審議項目の設定及びスケジュールについて (3)その他	○施策の効果に関する評価の「視点」等に基づき、施策効果や検討課題を項目ごとに整理し、意見交換 ○タスクフォースの設置を含めた審議方法の決定 ○審議協力者の選定(審議対象項目を設定した上、必要に応じて有識者を選)	
第2回 6月21日(金) 16:00～18:00	(1)少子高齢化等の進展やワークライフバランス等に対応した統計の整備	○23年度施行状況報告審議結果報告書において指摘されている課題(少子高齢化・ワークライフバランスに関する調査項目の過不足・重複についての検討)に対する対応状況の検証・検討(24年度施行状況報告資料7関連)を踏まえた今後の課題の整理 ○「家計収支の個計化の把握」及び「全国単身世帯収支実態調査におけるモニター方式の採用」に関する進捗状況・今後の取組計画の確認を踏まえた今後の課題の整理	第2-3(2)少子高齢化等の進展やワークライフバランス等に対応した統計の整備
	(2)暮らし方の変化に対応した統計の整備	○国民生活基礎調査の標本拡大・調査票の見直し等、答申の確認を踏まえた今後の課題の整理 ○21世紀出生児縦断調査、21世紀成年者縦断調査等のデータに関する利用活用状況の確認を踏まえた課題の整理	第2-3(3)暮らし方の変化に対応した統計の整備
	(3)幸福度指標、ジェンダー統計の実情報告	○社会経済情勢の変化を勘案した「幸福度指標」及び「ジェンダー統計」に関する取組状況の確認 ⇒「幸福度指標」に関連し、「世論調査」の概要についても聴取	
第3回 7月5日(金) 14:00～16:00	(1)少子高齢化等の進展やワークライフバランス等に対応した統計の整備、暮らし方の変化に対応した統計の整備	○前回の審議結果を踏まえ、次期基本計画に盛り込む事項を整理 ○その他、24年度の実施状況の確認 ・住民基本台帳に基づく人口・人口動態及び世帯数の集計 ・住宅・土地統計調査の見直し	第2-3(2)少子高齢化等の進展やワークライフバランス等に対応した統計の整備、(3)暮らし方の変化に対応した統計の整備
	(2)医療費に関する統計の国際比較可能性の向上	○OECDのSHA手法に基づく保健医療支出推計の公的統計化に係る妥当性の検討	第2-2(4)医療費に関する統計の国際比較可能性の向上
	(3)SSDS	○SSDSの今後の課題の整理 ⇒総務省統計局より取組状況等を聴取	

回数、日時	議題	検討すべき具体的課題・審議のポイント	現行基本計画の項目
第4回 7月19日(金) 14:00～17:00	(1)企業活動の変化や働き方の多様化等に対応した労働統計の整備	○23年度施行状況報告書審議結果報告書において指摘されている課題(非正規雇用の実態を的確に把握するための関係統計整備)に対する対応状況の検証・検討(24年度施行状況報告資料8関連)を踏まえた今後の課題の整理 ○23年度施行状況報告書審議結果報告書において指摘されている課題(同一企業内での雇用形態の転換)に対する対応状況の検証・検討を踏まえた今後の課題の整理(改正労働契約法との関係に留意) ○社会経済情勢の変化を勘案した「ジェンダー統計」に関する取組状況の確認 ○その他、24年度の実施状況の確認 ・雇用動向調査等を用いた雇用創出・消失指標の推計・公表 ・ハローワーク以外の求人数の把握方法の検討 ・労働力調査におけるフローデータの集計・公表	第2-3(8)企業活動の変化や働き方の多様化等に対応した労働統計の整備
	(2)教育をめぐる状況変化等に対応した統計の整備	○学校教育段階から就職活動までを的確に捉える統計に関する取組状況の確認 ⇒就職した後の履歴(就職、転職、再就職)を把握することについても確認 ○社会教育調査に関する状況の変化の確認 ○その他、24年度の実施状況(23年度施行状況報告書審議時の指摘事項を含む。)の確認 ・いじめ等に関する事項を含む統計調査の比較可能性の向上 ・船員統計における学歴等の把握 ・学習費調査における塾への通学頻度や進路希望の項目追加	第2-3(4)教育をめぐる状況変化等に対応した統計の整備
	(3)福祉・社会保障全般を総合的に示す統計の整備	○福祉・社会保障統計について、項目の統合や、更なる充実・発展の余地等を検討	第2-2(3)福祉・社会保障全般を総合的に示す統計の整備
	(4)グローバル化の進展に対応した統計の整備	○グローバル化の進展に伴い、外国人に関する統計の更なる充実・発展の余地等を検討	第2-3(7)グローバル化の進展に対応した統計の整備
	(5)その他(国勢調査、犯罪被害実態調査)	○24年度の実施状況の確認 ・国勢調査のインターネットを活用した調査の全国導入を含む調査方法の見直しの検討状況 ・犯罪被害実態(暗数)調査における標本数の拡充等による制度の向上 ○本項目の他の項目への組み換え等(本文に記載がないため)	第2-3(9)その他(国勢調査、犯罪被害実態調査)
タスクフォース 7月31日(水) 14:00～16:00	○従業上の地位	○従業上の地位の整理にあたって、メリット・デメリットを中心に整理し、掘り下げた検討を実施 ⇒現在の整理状況について再レビュー	第2-3(8)企業活動の変化や働き方の多様化等に対応した労働統計の整備
第5回 9月3日(火) 16:00～18:00	(1)タスクフォースの審議概要報告	○タスクフォースにおける審議結果の検証	
	(2)第2WGのとりまとめ(報告書案)	○座長等とも相談の上、審議結果を踏まえた報告書案を示し、審議。 ○WGとしての了承を得て、報告書を基本計画部会に報告	

※1 第2WGのとりまとめ(骨子案)については、第4回第2WG審議終了後、メール等にて各委員に意見照会することとする。

※2 各個別事項の審議の際には、関係する統計調査について、年齢の把握方法及び表章区分などの現状を各府省等から説明を受け、必要に応じ審議する。